

# 令和2年度 むつ商工会議所経営発達支援計画 事業評価書

令和2年度の「経営発達支援計画」に基づいて実施した事業について、事業評価協議会を開催し、次年度以降の各事業の見直し等につなげるための評価を行った。

1. 日時 令和3年3月30日（火） 13:30～15:00

2. 場所 むつ商工会議所 2階会議室

3. 出席者 【委員】鹿内 徹（むつ商工会議所専務理事）  
 穴戸 俊一郎（日本政策金融公庫青森支店国民生活事業統轄）  
 田村 武智（グローバルエグゼクティブパートナーズ 代表）  
 小林 睦子（むつ市経済部産業雇用政策課長）  
 竹園 育雄（むつ商工会議所理事事務局長）  
 船場 永幸（むつ商工会議所中小企業相談所長）

【事務局】むつ商工会議所中小企業相談所経営支援課 課長 松谷 仁  
 〃 中小企業相談所経営支援課 主事 奥川 拓也

## 4. 事業評価

- ・評価基準は、次のとおり。
  - 5 ⇒ 優れて達成している
  - 4 ⇒ やや優れて達成している
  - 3 ⇒ 概ね達成している
  - 2 ⇒ やや達成が不十分
  - 1 ⇒ 達成できていない

- ・各事業の評価は、下記表のとおり

委員6名が、5～1それぞれに該当する評価をした人数を記載している。

事業番号、事業内容	5	4	3	2	1
2. 地域の経済動向調査に関する事	2	3	1		
3. 経営状況の分析に関する事	5	1			
4. 事業計画策定支援に関する事	5	1			
5. 事業計画策定後の実施支援に関する事	3	2	1	1	
6. 需要動向調査に関する事		1	4		
7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事		1	5		
8. 地域経済の活性化に資する取組に関する事		5	1		
9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事		4	2		
10. 経営指導員等の資質向上等に関する事	1	4	1		

<評価に係る委員の意見、コメント等>

○コロナ禍以前に作成された評価基準のため、評価が難しい。

「事業実施状況」の目標に照らし合わせると評価を下げる必要はない。

・巡回目標件数を多く設定していたため、コロナ禍で思うように巡回できなかった。

○マル経融資で財務分析の結果、コロナの影響はあったか？

・減少した事業はもちろんあったが、衛生品小売業や飲食店でのテイクアウト販売など売上回復、増加した事業所もあり、プラスに作用している事もあった。しかし、売上は確保できているが、利益が確保できていない状況。

○事業計画策定に関しては個別相談会時、むつ商工会議所の職員が携わった計画書を見せてもらったが、非常に高いレベルの計画書であった。スタッフの支援力の高さがある。素晴らしい。

○事業計画を作って終わりではない。その後のフォローが大事。実績を見ると、このコロナ禍でのフォロー件数は素晴らしいと思う。

○ムチュランカードに関して、会員数約 1,000 事業所の割に 65 店舗は少なくないか。多い方が、業種毎の分析ができると思うので、店舗数の増加をした方が良いのでは。

・ムチュランカードのPR不足は否めない。また、自店のポイントカードを作っているお店が多い事もあり、加盟店が増えていない。分析を基に、どの地域からどの年齢層が買い物に来ているのかが把握できれば、情報を活かし進めていく事ができる。

○中小機構ではオンライン相談が通常となってきた。会員さんでもオンライン相談できるよう環境整備してほしい。

・県の補助金でオンライン相談できるようパソコンを導入し、1月の相談会で利用した。IT関係の個別相談会は秋頃に予定しており、オンラインの相談に対応したい。

○コロナ禍で経営指導員の役割は多くなる。会って話をする、情報を共有するのは重要。頑張ってもらいたい。